

2023年3月10日
秋田キャッスルホテル

あきびネット学生作品展示事業の一環として 秋田公立美大・石垣さんの作品を展示

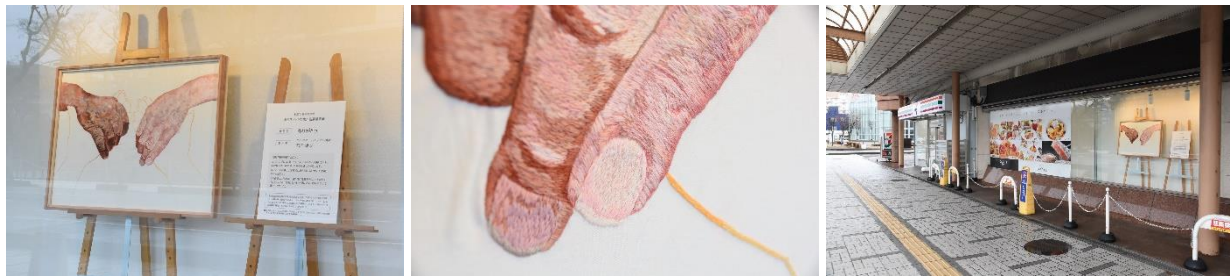
展示：2023年3月10日（金）～5月14日（日）／広小路側ショーウィンドウにて
～横幅1mを超える刺繍作品で両親への感謝を表現～

秋田キャッスルホテルはこの度、「あきびネット学生作品展示事業」に参画し、2023年3月10日よりホテル広小路側ショーウィンドウにて秋田公立美術大学の石垣優衣さんが制作した刺繍作品の展示を始めました。5月14日までの期間限定です。

本事業は、秋田公立美術大学の卒業・修了展2023に向けて制作された作品をあきびネット会員企業の社屋内等に展示し、アート作品を通じたコミュニケーションの活性化と学生の制作意欲向上を目的とするものです。

当ホテルではかねてより文化・芸術活動を支援するメセナ活動に取り組んでおり、あきびネットへの加盟をはじめ、館内のパブリックスペースにパブロ・ピカソの原画を展示し、誰でも気軽に本物の文化に触れる機会を創出するなど、さまざまな支援を行っております。

今回の展示を通じて秋田で芸術活動に取り組む学生を応援するとともに、これからも地元企業として地域の文化振興に取り組んでまいります。



▲作品展示の様子。色の濃淡など、すべて刺繍で表現している。展示場所は広小路に面し、どなたでも鑑賞可能。

■展示作品について

- 【タイトル】 ありがとう
- 【素材】 布、刺繍糸
- 【サイズ】 縦728×横1030 (mm)

■制作者紹介

＜石垣 優衣(いしがき ゆい)さん＞

山形県遊佐町出身、2000年生まれ(満22歳)。2019年秋田公立美術大学美術学部美術学科に入学。在学中はグラフィックデザインを中心に学び、秋田市出身の脚本家・内館牧子さんのエッセー集「心に情 唇に鬼」の装丁デザインや秋田魁新報社発行の秋田ノーザンハピネット報道写真集「Road to championship」の表紙デザイン等を担当。刺繍は独学で学び、卒業制作では「誰かに向けてこれまでになくサイズの制作に挑戦したい」と自身最大サイズの刺繍作品の制作に取り組んだ。2023年3月、同大学を卒業。4月より就職のため活動拠点を宮城県仙台市に移す。



▲制作者の石垣さん

■作品についての本人コメント

両親に贈る刺繍作品です。左の父の手には、厳しさの中にある父なりの優しさがあり、右の母の手には力強くも繊細な優しさがあります。私にとって刺繍とは言葉では伝え切れない想いを表現する手段です。この作品は、私の選ぶ道に常に理解を示し、支え続けてくれた2人への「感謝」を一針一針に込め、約半年かけて縫い上げました。

※あきびネットは、秋田公立美術大学（あきび）をさまざまな面から支え、大学と交流・連携することで共に未来へ進もうとする支援組織です。

参考資料

●当社のメセナ活動について

秋田駅前から当社周辺の中通エリアは、市立・県立のふたつの美術館や文化芸術施設が集まり「文化の回廊」と呼ばれる地域です。当社ではメセナ活動の一環として2016年2月から「ピカソ」と「ドガ」の絵画を展示するなど、周辺施設との連携を図りアートを通じたにぎわい創出を目指しています。

●館内アート作品の紹介

- ▶ 「マンドリンと壺」(1959年)
作者／パブロ・ピカソ 展示場所／1階 ロビー
- ▶ 「海辺のカップル」(1956年)
作者／パブロ・ピカソ 展示場所／1階 ロビー
- ▶ 「踊り子」(1901年)
作者／エドガー・ドガ 展示場所／6階 特別ラウンジ
- ▶ 「街」
作者／川嶋 渉 展示場所／2階 ホール
- ▶ 「カンヌ・カールトンホテル」
作者／ポール・アイズピリ 展示場所／2階 ホール



※ピカソの絵画は2点を入れ替え展示

※上記は館内に展示している作品から一部を抜粋して記載しています。

●秋田キャッスルホテルについて

1970年7月7日開業。客室数150室、大小11の宴会場、料飲店舗5施設を有するシティホテル。医療施設エリア「メディカルモール」、ホテルオフィス、テナントショップなどを併設し、地域の活動拠点としてあらゆるシーンでご利用いただけます。2001年よりメディカル事業部を新設。県内40か所以上の病院・福祉施設で給食業務を展開しています。

- ▶ 会社名（商号） 株式会社秋田キャッスルホテル
- ▶ ホテル名称 秋田キャッスルホテル
- ▶ 住 所 秋田県秋田市中通一丁目3番5号
- ▶ 資本金 1億円
- ▶ 開業年月日 1970年7月7日
- ▶ 従業員数 448人（2023年3月1日現在）